

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月8日(土) 男子 1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第2試合

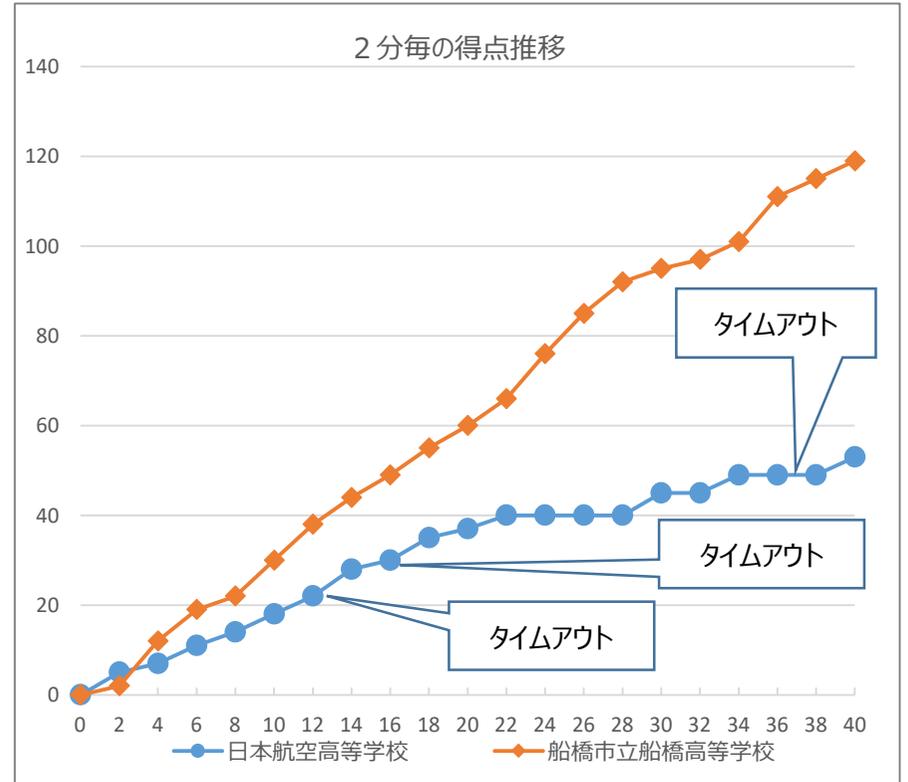
チームA		18	1st	30	119	船橋市立船橋高等学校 (千葉県)	チームB
日本航空高等学校 (山梨県)	53	19	2nd	30			
		8	3rd	35			
		8	4th	24			
		OT					

Aチーム: 日本航空高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		2	原 駿太	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
2		3	坂柳 祥	3	0	0	0	1	3	4	2	1	1	2
3	*	6	長江 耀輝	2	0	0	1	2	0	0	5	0	1	1
4	*	8	加藤 青龍	18	4	20	2	12	2	2	1	0	3	3
5	*	9	トウアン シュイボ	2	0	0	1	2	0	0	3	2	2	4
6		10	小山 悠大											
7		21	白井 大成	6	0	3	3	5	0	0	5	2	1	3
8	*	25	早船 慧	18	0	6	8	21	2	4	1	1	1	2
9		33	新海 遼斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	*	35	安保 翼	2	0	1	1	2	0	0	4	1	0	1
11		36	安藤 叶翔											
12		43	佐藤 広野	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
13		66	小林 基隼											
14		91	古山 佳和											
15		93	石川 駿太											
HC/TEAM			小野 凌											0
合計				53	4	30	17	50	7	11	21	7	9	16

Bチーム: 船橋市立船橋高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	田中 晴瑛	19	2	4	5	6	3	4	1	3	6	9
2	*	5	下川 拓海	10	0	2	4	4	2	2	1	1	3	4
3	*	6	平山 泰我	12	0	1	6	9	0	0	1	6	1	7
4	*	7	市場 脩斗	10	1	3	2	5	3	5	3	1	5	6
5	*	8	天野 皓介	19	2	4	6	7	1	2	0	2	8	10
6		9	濱野 聡一郎	13	1	1	4	6	2	4	2	3	0	3
7		10	井口 瑠大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8		11	草田 樹	7	0	3	3	5	1	2	1	0	2	2
9		12	濱井 雅貴	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
10		13	神川 大地	8	2	6	1	4	0	0	1	0	0	0
11		14	中村 太紀	7	0	3	3	4	1	3	0	0	2	2
12		15	宮下 柊斗	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
13		16	佐々木 翔太	4	0	1	2	3	0	0	0	0	2	2
14		17	名倉 睦人	8	0	0	3	6	2	2	2	3	4	7
15		18	米沢 静輝	0	0	0	0	1	0	0	1	3	5	8
HC/TEAM			斉藤 智海											0
合計				119	8	29	40	61	15	24	14	23	38	61



戦評

記者: 三井 岳人 (山梨県高体連)

1Q、お互いオールコートマンツーマンでスタート。日本航空#9のゴール下シュートでゲームは動き出す。一方市船は、激しいディフェンスからのブレイク、リバウンドシュートなどで得点を重ね18-30で市船リードで終了。
 2Q、お互い変わらず、オールコートマンツーマンでスタート。市船は、ディフェンスを緩めず、ブレイクなどで加点しゲームの主導権を握る。一方日本航空は、#8の個人技などで必死に食らいつくも、37-60市船リードで前半終了。
 3Q、市船#5のゴール下シュートでスタート。市船はディフェンスリバウンドを制し、得点を重ねる。日本航空はメンバーチェンジなどで追い上げを試みるが、45-95で市船が大きくリード。
 4Q、市船は、登録メンバー全員を出場させる余裕を見せゲームを進める。一方日本航空は、積極的にシュートを狙うもなかなか得点が伸びず、市船が勝利。
 終盤、ディフェンスの手を緩めず、ブレイクなどで得点した市船が、日本航空を圧倒した。

主審	第1副審	第2副審
大澤 尚樹 (神奈川県)	小原 宏太 (埼玉県)	星河 聖 (群馬県)